



VeriTrans4G 開発ガイド別冊 ワンクリック継続課金サービス 結果通知テストツールご利用ガイド

Ver. 1.0.0 (2023 年 6 月～)

目次

第 1 章 本ドキュメントについて2

 1-1 本ガイドの内容.....2

 1-2 対象者2

 1-3 著作権、および問い合わせ先2

 1-4 改訂履歴.....2

第 2 章 結果通知電文をシミュレートする.....3

 2-1 洗替結果通知電文をシミュレートする3

 2-2 課金結果通知電文をシミュレートする5

第1章 本ドキュメントについて

1-1 本ガイドの内容

本ガイドは、VeriTrans4G ワンクリック継続課金サービスにて使用する結果通知電文のシミュレートについて記載しています。

VeriTrans4G の詳細については、「VeriTrans4G 開発ガイド」を参照して下さい。

尚、結果通知電文の詳細は、「VeriTrans4G インターフェース詳細～ワンクリック継続課金サービス～」を参照して下さい。

1-2 対象者

タイトル	概要	企画者	開発者	運用者
ワンクリック継続課金サービス結果通知テストツールご利用ガイド	ワンクリック継続課金サービスで提供される洗替結果通知/課金結果通知のシミュレート方法について記載されています。		◎	○

表 1-2-1 ドキュメント一覧

1-3 著作権、および問い合わせ先

[著作権]

本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。

Copyright © 2023 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ベリトランス テクニカルサポート

電子メール: tech-support@veritrans.jp

1-4 改訂履歴

2023/06 : Ver1.0.0 作成

第2章 結果通知電文をシミュレートする

ダミーモードでは、洗替結果通知は送信されません。継続課金処理に失敗した場合に決済サーバーから店舗様へ送信される課金結果通知は送信されますが、何度もテストするには不向きです。

そのため、洗替、課金結果通知を疑似的に送信するツール（結果通知テストツール）を用意しております。

結果通知テストツールを利用することで、結果通知受信の簡易的なテストを行うことができます。

■ 注意事項

- 結果通知テストツールでは、簡易的なパラメータチェックのみ行っており、フィールド値の組み合わせパターンのチェック等はありません。そのため、通常では送信されないパターンの通知を行うことができます（処理日時と課金実施年月日が異なるなど）。この点にはご注意ください。

2-1 洗替結果通知電文をシミュレートする

■ 動作環境

Java 8 以降がインストールされた PC 等をご用意ください。

■ 実行方法

```
java -jar pushSendTool-1.x.x.jar -c [設定ファイル名] -i [送信データファイル名]
```

（実行例①：洗替結果通知の場合）

```
C:\path\to\pushTool>java -jar pushSendTool-X.X.X.jar -c paynowidCardCleaning.properties -i  
paynowidCardCleaning_sample.csv  
PUSH_URL:http://your.domain.com/push/paynowidCardCleaningPush  
本当にこの URL に送信してもよろしいですか？ (Y/N) ← Yを入力し、Enter キーを押下  
結果通知電文の送信が正常に終了しました。  
C:\path\to\pushTool>
```

※X.X.X はツールのバージョンとなります。実際のファイル名に合わせてご指定下さい

■ 設定ファイルフォーマット

- 下表のすべての項目を name=value の形式で設定してください。
- 項目毎に改行を入力してください。

項目名	設定値の例	説明
MERCHANT_CCID	A100000000000001069951cc	マーチャント CCID を指定します。
MERCHANT_SECRET_KEY	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789	マーチャント認証鍵を指定します。
PUSH_URL	http://your.domain.com/push/paynowidCardCleaningPush	店舗様側で結果通知電文を受信する URL を設定してください。 (http,https どちらでも可能です。)
SEND_EACH	false	1 回の送信ですべてのデータをまとめて送信する場合は false を指定します。 true を指定した場合、作成したデータを 1 件ずつ送信しますが、実際の洗替結果通知電文は 1 回の送信で全てのデータをまとめて送信いたしますので false を指定してください。
PUSH_ID	99999	送信する際の push_id を指定してください。SEND_EACH=true の場合、この値からインクリメントして送信します。 結果通知のフォーマットに一致していれば任意の値で構いません。
PLUGIN_NAME	PaynowidCardCleaning	送信するサービス名(PaynowidCardCleaning)を指定してください。

■ 送信データファイルフォーマット

- 1 行目にヘッダ行、2 行目以降にデータレコードを設定してください。
- データレコードには、下表のフィールド値を CSV 形式で設定してください。

フィールド名	フィールド名(日本語)	フィールド値の例など
accountId	会員 ID	会員 ID を指定してください。
txnTime	処理日時	YYYYMMDDHH24MISS 形式で指定してください。例) 20230708121314
cardId	カード ID	開発ガイド記載の文字種、文字列長に合わせ、任意の文字列を指定してください。
cardNo	カード番号	カード番号の上 6 桁下 2 桁のみ数字、その他は"*"でマスクして指定してください。 例) 411111*****11
cardExpire	カード有効期限	MM/YY 形式で指定してください。例) 03/18
cardCheckStatus	洗替ステータス	"1": 無効、"2": 照合エラー、"5": 未実施 のいずれかを指定してください。

(データレコードの入力例)

```
accountId,txnTime,cardId,cardNo,cardExpire,cardCheckStatus
testAccount,20230620152933,testCardId1,411111*****11,06/16,1
testAccount,20230623152933,testCardId2,411111*****11,12/16,2
testAccount,20230626152933,testCardId3,411111*****11,03/17,5
...
```

2-2 課金結果通知電文をシミュレートする

■ 動作環境

Java 8 以降がインストールされた PC 等をご用意ください。

■ 実行方法

```
java -jar pushSendTool-1.x.x.jar -c [設定ファイル名] -i [送信データファイル名]
```

(実行例)

```
C:\path\to\pushTool>java -jar pushSendTool-X.X.X.jar -c paynowidRecurring.properties -i
paynowidRecurring_sample.csv
PUSH_URL:http://your.domain.com/push/paynowidRecurringPush
本当にこの URL に送信してもよろしいですか? (Y/N) ← Y を入力し、Enter キーを押下
結果通知電文の送信が正常に終了しました。
C:\path\to\pushTool>
```

※X.X.X はツールのバージョンとなります。実際のファイル名に合わせてご指定下さい

■ 設定ファイルフォーマット

- 下表のすべての項目を name=value の形式で設定してください。
- 項目毎に改行を入力してください。

項目名	設定値の例	説明
MERCHANT_CCID	A100000000000001069951cc	マーチャント CCID を指定します。
MERCHANT_SECRET_KEY	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789	マーチャント認証鍵を指定します。
PUSH_URL	http://your.domain.com/push/paynowidRecurringPush	店舗様側で結果通知電文を受信する URL を設定してください。 (http,https どちらでも可能です。)
SEND_EACH	false	1 回の送信ですべてのデータをまとめて送信する場合は false を指定します。 true を指定した場合、作成したデータを 1 件ずつ送信しますが、実際の課金 結果通知電文は 1 回の送信で全てのデータをまとめて送信いたしますので false を指定してください。
PUSH_ID	99999	送信する際の push_id を指定してください。SEND_EACH=true の場合、この値 からインクリメントして送信します。 結果通知のフォーマットに一致していれば任意の値で構いません。
PLUGIN_NAME	PaynowidRecurring	送信するサービス名(PaynowidRecurring)を指定してください。

■ 送信データファイルフォーマット

- 1 行目にヘッダ行、2 行目以降にデータレコードを設定してください。
- データレコードには、下表のフィールド値を CSV 形式で設定してください。
- 課金結果通知は継続課金処理失敗の取引のみ通知しますので受信電文の mstatus(処理ステータス)に failure が固定で設定されます。送信データファイルに指定する必要はありません。

フィールド名	フィールド名(日本語)	フィールド値の例など
accountId	会員 ID	会員 ID を指定してください。
orderId	取引 ID	取引 ID を指定してください。 取引 ID のフォーマットに従っていれば任意の値で問題ございません。
txnTime	処理日時	YYYYMMDDHH24MISS 形式で指定してください。例) 20230708121314
chargeGroupId	課金グループ ID	開発ガイド記載の文字種、文字列長に合わせ、任意の文字列を指定してください。
chargeAmount	課金金額	開発ガイド記載の文字種、文字列長に合わせ、任意の文字列を指定してください。
chargeDate	課金実施年月日	YYYYMMDD 形式で指定してください。例) 20230708

(データレコードの入力例)

```
accountId,orderId,txnTime,chargeGroupId,chargeAmount,chargeDate
testAccount,testOrder1,20230620152933,testChargeGroup,99999999,20230630
testAccount,testOrder2,20230623152933,testChargeGroup,5000,20230630
testAccount,testOrder3,20230626152933,testChargeGroup,100,20230630
...
```